

戦争法廃止へたたかう

8/29
系旗

“これからも一緒に”

シールズ東北

戦争法に反対する東北の大学生でつくる「SEALED TO HOKU」のシールズ東北は26日、仙台市の街頭で宣伝し、「民主主義は終わっていない。おそろい声を上げ続けます」と訴えました。



戦争法廃止への思いを込めて、学生7名で26日、仙台市。

大学2年生の久道美さんは「安倍政権の問題で活動していく中で、沖縄の基地問題、福島の問題や差別・貧困など、いろいろな問題と関わっている。嫌になるほど深いことに気づきました。民主主義国家の一員として、これからも一緒にたたかっていきましょう」と呼びかけました。

安倍政権にレッドカード

埼玉

戦争法の成立強行に抗議し、安倍政権の退陣を求める「第4回戦争ゆるさない女性のレッドアクション」が26日、さいたま市で行われ、750人の女性たちが「戦争法は今すぐ廃止！レッドカード！安倍政権」と声を上げました。



「戦争法は廃止」としてデモ行進する女性たち。26日、さいたま市浦和区。

間違っています。可決した今も声を上げ続けることを誓いました。「戦争法案に反対する福島若者有志」のメンバーもマイクを握りました。

（ティーンズ・ソウル）の女子高生は「入念にもマイクを握りました。殺される国は、や帽子、タオルなどを身につけて、JR浦和駅までパレード。子どもを連れて若い母親の姿が目立ち、インターネットで行動を知り参加した若い父母や、飛び入り参加する人もいました。

パパもママも声上げる

熊本

ママの会は26日、熊本市の繁華街で、戦争法の強行採決に「憲法の違反は認められない」と抗議行動を行いました。



子どもたちを守るうと声をあげパレードする参加者。26日、熊本市。

「張りましょ」と参加者を激励しました。8カ月の娘を連れて初めて参加した大園幸恵さん（36）は「この子が大きくなった時に、戦争する世の中になってしまつたらと心配です。1人でも声を上げる人が増えることが大事だと思つて話しました。日本共産党の、おぐだ智子参院比例候補、柳下礼子、金子正江の両候補、共産党と「民主改革」のさいたま市議が参加しました。

共産党提案「良い」

小林節さんを招きトーク

徳島

安原閣議院法に反対するママの会徳島（大西さちえ代表）は26日、小林節氏（慶応大学名誉教授、憲法学者）を招いて徳島市でトークセッションを行いました。200人が参加しました。戦争法への疑問や、廃止への取り組みについて意見交換しました。小林氏は、今後の取り組みについて「政権交代だ。野党がまとまり、戦争法を廃止し、『閣議決定』を元に戻すことだ」と断言。国際法や憲法の性格を説明し「憲法9条により日本に戦争する資格はない。権力者は憲法を超えた行為をしてはいけない」と戦争法が違憲立法であると指摘した上で、日本共産党の「国民連合政府」の提唱を「勇気ある快挙だ。戦争法廃止の一点

つきました。行動には約40人が参加して、「パパとママはあきらめない」選挙に行つて政治を変えよう」などと声を上げ、アンケートをパレードしました。共同代表の高林秀明さん（熊本学園大学教授）はあいさつで「子どもたちには、習字の下で遊び、好きな本を読むといった平凡であっても平和で幸せ暮らしをさせたいと心から強く思う」と語り、「戦争法を認めてはならない。反対の運動を広げていこう」と訴えました。8カ月の男の子を加した橋本里さん（32）は、おとなは子ども

憲法守つて平和日本を

鳥取

憲法改悪反対鳥取県共同センターは26日、とりぎん文化会館前で戦争法反対集会を開き、約60人がJR鳥取駅まで「戦争法いまずく廃止」とコールしながらパレードしました。主催者を代表して新日本婦人の会鳥取本部の田村真弓事務局長が「戦争法の強行採決は民主主義破壊の暴挙です。参議院選挙で賛成議員を落選させ、何としても廃止しよう」と呼びかけました。「安倍閣議院法に反対するママの会（つとむり）の女性（分）」は「戦争法は憲法違反。強行

での連立は、いいじゃないですか」と評価。「それ以外に方法はない」と訴える大きな拍手が起りました。大西代表は「平和の上に私たちの生活がある。まず、それを確保するところですね」と応じました。夫と子ども2人で参加した徳島市の片岡和美さん（31）は「国民無視で違憲の法律を通すのは、独裁政治です。みんなで声を上げて、国民の声を聞いてくれる政権を誕生させたい」と話しました。